

「市民ワークショップ」実施報告書

令和6年3月



八千代市

目 次

I. 開催案内	1
1. 開催目的	1
2. 開催概要	1
(1) 対象	1
(2) 人数・班分け	1
(3) 開催日	1
(4) 会場	1
3. ワークショップの実施方法	2
(1) テーマ	2
(2) 進行上の留意点・導入手法等	2
(3) プログラム	3
(4) ワーキング概要	4
II. 結果のとりまとめ	6
1. 第1回市民ワークショップの実施結果	6
(1) 開催日	6
(2) 会場	6
(3) 参加者	6
(4) 内容	6
(5) 第1回市民ワークショップの整理	7
(6) 第2回市民ワークショップで検討するまちづくりの課題	12
2. 第2回市民ワークショップの実施結果	13
(1) 開催日	13
(2) 会場	13
(3) 参加者	13
(4) 内容	13
(5) 第2回市民ワークショップの整理	14
3. グループワークの様子	29
(1) グループワーク中	29
(2) 第1回グループワークの成果物	30
(3) 第2回グループワークの成果物及び発表風景	30
III. 参加者アンケート	32
1. 第1回市民ワークショップのアンケート結果	32
(1) 回答者の属性	32
(2) 第1回市民ワークショップの時間配分	33
(3) 発言機会の過不足	34

(4) 第1回市民ワークショップの満足度	35
(5) ご意見・ご感想	37
2. 第2回市民ワークショップのアンケート結果	38
(1) 回答者の属性	38
(2) 第2回市民ワークショップの時間配分	39
(3) 発言機会の過不足	40
(4) 第2回市民ワークショップの満足度	41
(5) ご意見・ご感想	43

I. 開催案内

1. 開催目的

第5次総合計画の後期基本計画（令和7年度～10年度）の策定に際し，市民の市政への関心・興味を高めるとともに，市民から市政に対する意見・要望やまちづくりに対する課題・提案を幅広く引き出し，計画策定の参考とするために実施する。

2. 開催概要

(1) 対象

八千代市の市政やまちづくりに関心があり，まちづくりに関する課題・問題点や今後の方向性，施策・事業などの提案をしていただける市民。

(2) 人数・班分け

	班名	申込人数
1	若者世代チーム	6名
2	子育て世代チーム	8名
3	転入者チーム	7名
4	現役世代チーム	9名
5	高齢者チーム	10名
	合計	40名

(3) 開催日

第1回：令和5年11月12日（日）10：00～12：00

第2回：令和5年11月26日（日）10：00～12：00

(4) 会場

八千代市役所別館2階第1・第2会議室

3. ワークショップの実施方法

(1) テーマ

八千代市のよいところ・魅力及び課題・問題点を踏まえたうえで、八千代市の今後のまちづくりで取り組むべきことなどについて、参加者から意見や提案をいただく。

各回の検討テーマは下表のとおり。

第1回	● 八千代市のまちづくりの現状（各種調査結果）に関する情報提供 ● 八千代市のよいところ・魅力と課題・問題点の洗い出し・整理 — 好きな点・良い点・自慢したい点、嫌いな点・改善した方がよい点など
第2回	● 第1回ワークショップの振り返り — 第1回ワークショップの検討結果に関する情報提供 ● 今後のまちづくりで優先的に取り組むべきことの洗い出し・整理 — 八千代市の新しいまちづくりの方向性、今後のまちづくりの施策・事業、市民参加のあり方（自分たちができること）など

(2) 進行上の留意点・導入手法等

- 八千代市のよいところ・魅力と課題・問題点ならびに優先的に取り組むべき施策・事業などについて、市民の多様な視点や価値観を重視し、参加者の思うところ（本音）を自由にご発言いただく。
- 付せん紙等を活用して意見をグルーピングするなど、共通部分や関連性を明確にし、議論の深掘りや論点整理が進むようサポートする。
- 人数が多い班は、付せん紙を貼る際の各自の意見発表を一言に限定するなど、可能な限り参加者の発言機会を確保する。

(3) プログラム

ワーキング【★】に重点を置いて進め、最後に各グループの意見を全体で共有する。
各回のプログラム・タイムスケジュールは下表のとおり。

	プログラム(★:ワーキング)	時間
第1回	① 挨拶及び今回のワークショップの趣旨説明	10分
	② 八千代市のまちづくりの現状(各種調査結果)の情報提供	10分
	③ 第1回ワークショップの進め方・作業方法の説明	5分
	④ 自己紹介(名前, 居住地区, ワークショップ参加の目的・抱負など) ※ 所要時間:一人1分程度	10分
	⑤ 八千代市のよいところ・魅力と課題・問題点の洗い出し・整理【★】 — 好きな点・良い点・自慢したい点, 嫌いな点・改善した方がよい点を洗い出し, 整理する ※ 班ごとに適宜休憩を入れる。	60分
	⑥ 主な意見・論点等の発表 ※ 所要時間:各班3分以内	15分
	⑦ 次回の予定・今後の進め方のご案内	5分
第2回	① 市長挨拶	5分
	② 第2回ワークショップの進め方・作業方法の説明	5分
	③ 第1回ワークショップの検討結果の振り返り及び検討結果に対応している八千代市の施策・事業の情報提供	10分
	④ 八千代市の今後のまちづくりで優先的に取り組むべきことの洗い出し・整理【★】 — アウトプットは八千代市に対するまちづくりの提案のイメージでとりまとめる ※ 班ごとに適宜休憩を入れる。	75分
	⑤ 主な意見・論点等の発表 ※ 所要時間:各班4分以内	20分
	⑥ 総合計画策定の今後の流れの説明	5分

(注) 時間配分はおおよその目安

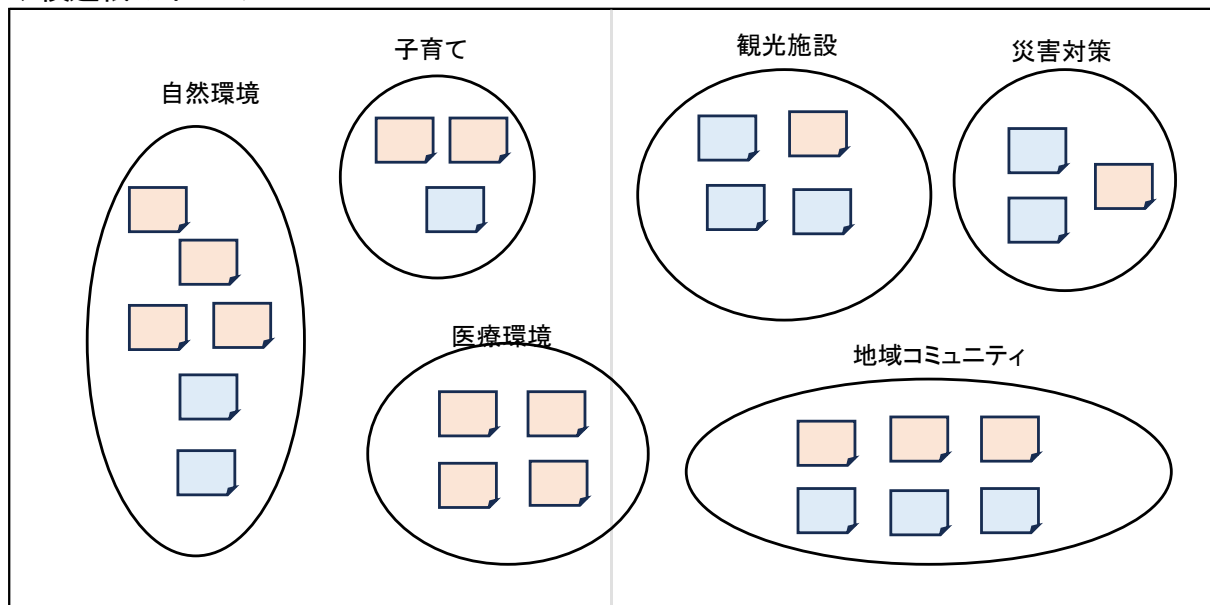
(4) ワーキング概要

① 第1回 (八千代市の強み・魅力と課題の洗い出し・整理)

(日時)令和5年11月12日(日)10:00~12:00

NO	所要時間	作業内容
1	—	・ ワークショップの流れのおさらい(CRI)。
2	10分	・ <u>八千代市のよいところ・魅力</u> などについて付せん紙に記入する。
3	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ずつ重要と思うものから内容を簡単に説明のうえ、模造紙に貼り付ける(前に貼り付けたものと考え方やジャンルが似ているものは近くに貼り付ける)。 ・ 他者の意見を聞きながら、新たに思いついたことなどを随時付せん紙に記入して自分の番で発表しても良い。 ・ 上記の流れを時間がくるまで繰り返す(時間はCRIが管理)。 ・ 時間が来たら手元に残った意見はジャンルが近いと思われるところに貼り付ける。 ※班ごとに必要に応じて休憩を入れる。
4	10分	・ <u>八千代市のまちづくりの課題・問題点</u> などについて付せん紙に記入する。
5	15分	・ 上記3の手順と同じ。
6	10分	・ 類似した意見やテーマを線でくりタイトルをつける。
7	15分程度	・ 発表会(1班あたり3分以内を目途に発表)。
合計	75分程度	

◆模造紙のイメージ



② 第2回（今後のまちづくりで優先的に取り組むべきことの洗い出し・整理）

（日時）令和5年11月26日（日）10:00～12:00

NO	所要時間	作業内容
1	—	・ワークショップの流れのおさらい(CRI)。
2	10分	・八千代市の施策・事業の説明(八千代市の職員)。
3	10分	・ <u>八千代市のまちづくりの今後の方向性</u> について付せん紙に記入する。
4	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ重要と思うものから内容を簡単に説明のうえ、模造紙に貼り付ける(前に貼り付けたものと考え方やジャンルが似ているものは近くに貼り付ける)。 ・他者の意見を聞きながら、新たに思いついたことなどを随時付せん紙に記入して自分の番で発表しても良い。 ・上記の流れを時間がくるまで繰り返す(時間はCRIが管理)。 ・時間が来たら手元に残った意見はジャンルが近いと思われるところに貼り付ける。 ※班ごとに必要に応じて休憩を入れる。
5	5分	・類似した意見を線でくくりタイトルをつける。
6	10分	・八千代市のまちづくりで今後優先的に取り組むこと(自治体に期待すること, 私たち(市民)ができること)について付せん紙に記入する。
7	20分	・上記3の手順と同じ。
8	5分	・上記4の手順と同じ。
9	20分程度	・発表会(1班あたり4分以内を目途に発表)。
合計	95分程度	

◆模造紙のイメージ

まちづくりの課題 (第1回の結果を記載)	まちづくりの方向性	優先的に取り組むべきこと	
		自治体にやって欲しいこと	私たち(市民)ができること
課題A			
課題B			
課題C			

II. 結果のとりまとめ

1. 第1回市民ワークショップの実施結果

(1) 開催日

令和5年11月12日（日）10:00～12:00

(2) 会場

八千代市役所別館2階第1・第2会議室

(3) 参加者

	班名	参加人数
1	若者世代チーム	5名
2	子育て世代チーム	5名
3	転入者チーム	4名
4	現役世代チーム	5名
5	高齢者チーム	9名
	合計	28名

(4) 内容

- ① 八千代市のまちづくりの現状（各種調査結果）に関する情報提供
- ② 八千代市のよいところ、魅力と課題・問題点の洗い出し・整理
— 好きな点・良い点・自慢したい点、嫌いな点・改善した方がよい点など

(5) 第1回市民ワークショップの整理

第1回市民ワークショップで話し合った内容を以下の通り整理した。網掛けのテーマは、八千代市のまちづくりにとって重要性が高いことから、テーマごとに「まちづくりの課題」を設定し、第2回市民ワークショップで更に議論を深めることとする。

① 若者世代チーム

テーマ	主な意見		
	魅力・強み等	課題・問題点	主な意見（概要）
施設 ＜商業、公共、文化＞	○		新川沿いに都市公園が整備されている/公園がきれい
		○	運動施設が少ない
	○		色んな施設がある（飲食店、大型商業施設、スーパー、ドラッグストア）
	○		地域資源（バラ、梨など）がある
		○	観光施設（観光地）が少ない/魅力をアピールしにくい
住環境	○		街並みがきれい
	○		家賃が安い
	○		治安がよい
	○		災害が少ない/台地上災害に強い
		○	空き家が多い
		○	早くからベッドタウンとして発展した地域（八千代台、勝田台）の老朽化
自然環境	○		谷津に自然が残っている/近くに自然がある
	○		都会の良さと田舎の良さがある/都市と農村のバランスがとれている
	○		農業が盛ん
	○		自然豊かで梨がおいしい
市の政策	○		エコや環境に対する市民の意識が高い
	○		祭りが多い
		○	市民の市政への意識が低い
		○	市政の活動があまり伝わってこない
		○	市に発展的なイメージがない
子ども	○		子どもが多い/たくさんいる
	○		若者が多く、活発的である
	○		学区の再検討が必要/最寄りの小学校に通えていない
		○	小中学校が少ない
		○	教育水準が低い
インフラ ＜道路、公共交通＞	○		東京や他県へのアクセスがよい
	○		公共交通が充実している（市の南部）
		○	交通費が高い（東葉高速鉄道）
		○	市への公共施設のアクセスが若干悪い
		○	主要道路の渋滞/慢性的な交通渋滞

② 子育て世代チーム

テーマ	主な意見		
	魅力・強み等	課題・問題点	主な意見（概要）
子育て	○		子育て世帯が多い
	○		お年寄りが子どもに優しい
	○		通学など地域の見守り（フォロー）がある
		○	保育園に入りにくい（待機児童数2位）
		○	小学校区が流動的
交通	○		都心へのアクセスが良い
	○		放置自転車が少ない
		○	東葉高速線の運賃が高い
		○	道路の渋滞がある
		○	歩道の整備不良（段差など）
観光	○		京成バラ園の知名度が高い
	○		果物（梨、ブルーベリーなど）、野菜が美味しい
	○		市のイメージキャラクター「やっち」
	○		高齢者施設「52間の縁側」（2023年度グッドデザイン賞）
		○	魅力を活かしきれしていない
街づくり	○		人口規模がちょうど良い
	○		治安が良い
	○		商業施設が充実している
	○		「不便」が少ない
		○	街づくりの計画性を感じない
自然	○		自然が豊か
	○		自然災害のリスクが少ない
	○		公園が多い
		○	公園整備が物足りない（屋根・遊具など）
		○	大雨などで浸水する地域がある
その他	○		夜間医療が受けられるクリニックがある
	○		ゴミの回収日が多い
		○	駅周辺の商店の衰退
		○	（船橋市の船橋FACEのような）市役所出張所があると便利

③ 転入者チーム

テーマ	主な意見		
	魅力・強み等	課題・問題点	主な意見（概要）
公共交通	○		都心へのアクセスが良い
	○		バス便が比較的多い
		○	東葉高速鉄道の運賃が高い
		○	道路渋滞が酷い 右折レーンがない道が多いのも原因の一つ
		○	交通量が多いのに道が狭い（道路整備）
		○	南北方向の交通の便が極端に悪い
		○	自転車レーンがない道路が多い
		○	駅前タクシー乗り場にベンチがない駅がある
安心安全		○	歩行者にとって危険な歩道がある
	○		医療センターとクリニックとの医療連携が進んでいる
		○	がん検診の個人負担が前に住んでいた市と比べて高い
観光		○	駅から離れると街灯が急に少なくなる場所がある
	○		京成バラ園の存在
		○	ふるさと納税の返礼品に魅力がない
		○	ゆるキャラが存在するが活かしきれていない
		○	閉鎖した小・中学校の有効活用
転入者サポート		○	道の駅を活かしきれていない
	○		ナビブックの内容が良い
地域コミュニティ	○		転入者に対するサポートが良い
		○	住んでいる外国人が多く、国際性豊か
インフラ整備		○	住んでいる外国人と上手く交流ができていない
	○		医療機関が充実している
		○	保健所が少ない。法務局などもない
		○	選挙投票所が少ない
生活環境		○	広報誌の設置場所が少ない
	○		商業施設が多く買い物が便利である
	○		都市部にしてはみどりが多い。手頃な規模感
	○		地価が手頃。住宅が手に入りやすい
		○	自然災害が少ないと感じる
	○	場所によっては畜産臭がする	

④ 現役世代チーム

テーマ	主な意見		
	魅力・強み等	課題・問題点	主な意見（概要）
地域コミュニティ	○		地域のつながりが強い
	○		地域による個性がある
		○	地域コミュニティが弱い
対外的発信	○		千本桜が美しい
	○		オリンピック選手を輩出している
		○	観光スポットが少ない
		○	八千代市ならではのイベントが少ない
		○	市の印象が弱い
生活・購買	○		商店が近い
	○		車を持ちやすい
	○		周辺地域で生活が成り立つ
	○		買い物の選択肢が比較的多い
		○	閉店する店が多い
産業	○		世界進出している中小企業がある（ロックアイスの小久保製氷冷蔵株式会社）
	○		畳などの産業が江戸時代から続いている
		○	市に転入（進出）してくる企業が少ない
移動	○		鉄道の利便性がよい
	○		都心へのアクセスがよい
		○	電車賃が高い
		○	道幅が狭いところが多い
		○	道路渋滞が激しい
医療・福祉	○		大きな病院がある
	○		町医者が多い
		○	高齢者への配慮がない
		○	医療センターの問題
		○	高齢者施設や保育園などの福祉施設が少ない
行政サービス		○	地域毎に学校の数に偏りがある
		○	行政のスピード感が遅い
		○	ダイバーシティ対応が遅れている（外国語、LGBTQ）
治安	○		犯罪が少ない
		○	新川の川端、里山の多い地域に街灯が少ない
人口	○		まだ人口減少が始まっていない
	○		若年層が増えてきている
	○		子育て世帯が多く住んでおり活気がある
住環境	○		程よく都会、自然も豊か
	○		家賃が安い
		○	子供達の遊び場がない

⑤ 高齢者チーム

テーマ	主な意見		
	魅力・強み等	課題・問題点	主な意見（概要）
高齢者福祉	○		元気な高齢者が多い
		○	高齢者の介護・福祉を充実させる必要がある
		○	一人暮らしの高齢者への対応が課題である
		○	高齢者の居場所が少ない
		○	ボランティアに高齢者を活用する
地域コミュニティ	○		近所付き合いが良くできている
	○		小学校の下校時に見守ってくださる人がいる
		○	市の魅力的なイベントが少ないと思う
		○	趣味の講座をもっとやってほしい
		○	市民の行事への参加が少ない
公共交通	○		都心へのアクセスが良い
	○		交通の便が良い（鉄道・道路）
		○	東葉高速鉄道の運賃が高い
		○	交通量が多いのに道が狭い（道路整備）
		○	歩行者にとって危険な歩道がある
各種インフラ整備	○		都市計画が順調である
	○		医療機関が充実している
		○	道の駅・桜・新川とあわせて名所地にする
		○	市からの防災無線が聞こえない
		○	体育館・プール等の整備・充実が必要である
生活環境	○		商業施設・商店街が多く買い物が便利である
	○		都会と田舎が混在していて暮らしやすい
	○		事件（犯罪）が少ない
		○	暮らしやすいがブランド力がない
		○	市民一斉の清掃の日を設定する
子育て	○		保育園が近くにある
	○		子供たちの遊び場が多い
		○	公立保育園に入れない
		○	小学校の給食を無料化する
		○	シングルマザーへの支援が必要である
自然	○		市民の森など自然が豊かである
	○		自然災害が少ない地域である
	○		多様な農業（酪農・果樹等）が営まれている
		○	地産地消を大々的に進める必要がある
市政運営		○	市が前例主義で改革が必要である
		○	市の情報発信を拡充する必要がある

(6) 第2回市民ワークショップで検討するまちづくりの課題

第1回市民ワークショップで検討したまちづくりのテーマのなかから、テーマの重要性及び各班の特性を踏まえるなか、第2回市民ワークショップで検討する「八千代市のまちづくりの課題」を班ごとに以下の3つに絞り込んだ。

① 若者世代チーム

	第2回市民ワークショップで検討するまちづくりの課題	第1回のテーマ
1	インフラ（施設）の充実	施設（商業・公共・文化）
2	生活環境の維持・向上（脱炭素への対応を含む）	住環境／自然環境
3	市の政策の活性化	市の政策

② 子育て世代チーム

	第2回市民ワークショップで検討するまちづくりの課題	第1回のテーマ
1	子育てしやすいまちづくり	子育て
2	交通アクセスの改善	交通
3	観光振興	観光

③ 転入者チーム

	第2回市民ワークショップで検討するまちづくりの課題	第1回のテーマ
1	安心・安全な移動手段の確保	公共交通
2	安心・安全なまちづくり（医療・介護・防犯）	安心安全
3	観光振興	観光

④ 現役世代チーム

	第2回市民ワークショップで検討するまちづくりの課題	第1回のテーマ
1	地域のつながりや個性、コミュニティのさらなる強化	地域コミュニティ
2	市の印象（都市アイデンティティ）やPR力の強化	対外的発信
3	産業の活性化	生活・購買／産業

⑤ 高齢者チーム

	第2回市民ワークショップで検討するまちづくりの課題	第1回のテーマ
1	高齢者福祉の充実	高齢者福祉
2	地域コミュニティの構築（高齢者の生きがいづくり）	地域コミュニティ
3	多様な交通手段の確保（交通弱者への対応強化）	公共交通

2. 第2回市民ワークショップの実施結果

(1) 開催日

令和5年11月26日(日) 10:00~12:10

(2) 会場

八千代市役所別館2階第1・第2会議室

(3) 参加者

	班名	参加人数
1	若者世代チーム	6名
2	子育て世代チーム	5名
3	転入者チーム	4名
4	現役世代チーム	3名
5	高齢者チーム	7名
	合計	25名

(4) 内容

① 第1回市民ワークショップの振り返り

ー第1回市民ワークショップの検討結果に関する情報提供

② 今後のまちづくりで優先的に取り組むべきことの洗い出し・整理

ー八千代市の新しいまちづくりの方向性, 今後のまちづくりの施策・事業, 市民参加のあり方(自分たちができること) など

(5) 第2回市民ワークショップの整理

第1回市民ワークショップで明らかになった「まちづくりの課題」に対して、「まちづくりの方向性（テーマ）」及び「優先的に取り組むべきこと（自治体にやってほしいこと／私たち（市民）ができること）」について班ごとに議論した。

各班の取りまとめ結果は以下の通り。

① 若者世代チーム

a. まちづくりの方向性

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	主な意見(概要)
課題① インフラ(施設) の充実	子育て支援	子どもが希望を持てる市
		勉強・研究技術を試せる場をつくる
		放課後行きたいと思える場所を増やす
	施設改修と 施設の魅力の 向上	老朽化した大規模商業施設のリノベーション
		作って終わりではなく継続的に運用できる施設をつくる
		キラキラ感を増やす
市の特性の活用	野菜・果物が食べたいときに気軽に食べられる	
	スポーツが盛んな市	
課題② 生活環境の 維持・向上 (脱炭素への 対応を含む)	きれいで 住みやすい まちづくり	ファミリー層が出かけやすい街づくり
		災害に強い市
		イルミネーション
	空き家対策 の強化	既成市街地での空き家利活用の方針
	エコな まちづくり	電気受給率100%
		エコの先進技術に取り組む街づくり
自然・花を増やす		
課題③ 市の政策 の活性化	子ども(学生) ファーストの 施策実施	学生との意見を交換する機会をつくる
		子どもを核とした市
	交流促進	市民ワークショップの定期開催
		地域の人との交流を増やす
		市政×市民の協力体制
	集客促進	周辺市町村から集客できる商業施設の交通網の整備

b. 優先的に取り組むべきこと（自治体にやってほしいこと）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	自治体にやってほしいこと
課題① インフラ(施設) の充実	子育て支援	学校校舎の改修・認可保育園設立の促進
		勉強カフェやドローンの飛行施設をつくる
		ラウンドワン、カラオケを増やす
	施設改修と施設の魅力の向上	リノベーションのための予算組・方向性の検討
	市の特性の活用	市営運営体育館の増設
課題② 生活環境の維持・向上 (脱炭素への対応を含む)	きれいで住みやすいまちづくり	レンタサイクル・ポートを増やす
		市営駐車場の充実
		避難施設の改修・運営体制の確保
		街灯を増やす
	空き家対策の強化	実態調査
		空き家のリノベーションに対する補助金
		空き家と断定できる家の固定資産税の増額
	エコなまちづくり	車が通れないように歩行者天国の実施
		工場における脱炭素促進事業
エコ技術研究への補助と活用事例の情報収集		
課題③ 市の政策の活性化	子ども(学生)ファーストの施策実施	ワークショップ等の機会・場所の提供
		全区での子ども食堂の実施
		給食・子どもの医療費の完全無料化
	交流促進	ワークショップ等の機会・場所の提供
		選挙前から後までを市民にフィードバック
	集客促進	歩行者が歩ける空間をつくり回遊性を向上

c. 優先的に取り組むべきこと（私たち（市民）ができること）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	私たち(市民)ができること
課題① インフラ(施設) の充実	子育て支援 市の特性の活用	SNS発信 (施設内に)誘致したい店舗の希望を言う
		地産のものが食べられる店を集める
課題② 生活環境の 維持・向上 (脱炭素への 対応を含む)	きれいで 住みやすい まちづくり	ビックデータで利用率等の解析
		コインパーキングの充実
		災害時のハザードマップの確認
	空き家対策 の強化	空き家の利活用を自治体で検討
		ご近所コミュニティをつくる
	エコな まちづくり	省エネ意識の向上・電気の見える化
		自動車を使わない
バイオマスソーラーパネルなどの促進		
		エコ技術の実験
		ごみの分別・リサイクル
課題③ 市の政策 の活性化	子ども(学生) ファーストの 施策実施	選挙への参加
		SDGsに対する意識を高める
		子どもの食事チケットの販売・購入
		地域学習で街づくりに関わる
	交流促進	自治会スケールで議論する
		SNS発信
		市の情報をチェックする(市民だより、アプリ、SNS等)
	集客促進	自治会スケールで議論する
		SNS発信

② 子育て世代チーム

a. まちづくりの方向性

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	主な意見(概要)
課題① 子育てしやすい まちづくり	地域資源の活用	地域や子どもに開かれたまちづくり
		高齢者による子育てフォロー
	安心につながる 情報発信	産後ケア事業の長期継続(複数回)実施
		子育て支援サイトの認知度を上げる
		安心して子育てできるまち
	学校教育の充実	地域差のないまちづくり(学校教育面)
持続可能な教育施設の整備		
スポーツ促進	スポーツや健康に特化したまち	
課題② 交通アクセスの改善	アクセス 利便性の向上	公共交通機関の利便性向上
		都心・駅へのアクセスの向上
		鉄道以外の移動手段の改善
	安心できる 歩行空間の 整備	自転車や歩行者に優しいまち
安心して生活できる道路整備		
課題③ 観光振興	新川の活用	新川周辺のアピール
		川沿いを中心としたまちづくり(リバーシティ)
		イルミネーションで明るいまちにする(イルミネーションシティ)
	情報発信力の強化	農産物の知名度向上
	アクセス改善	観光スポットへのアクセス改善
外国人との共生	外国人と共生するまち(アジアシティ)	

b. 優先的に取り組むべきこと（自治体にやってほしいこと）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	自治体にやってほしいこと
課題① 子育てしやすいまちづくり	地域資源の活用	高齢者リソースの把握と子育て需要のマッチング
	安心につながる情報発信	八千代市コンシェルジュの設置
		ポスター掲示・学校等への配布 子育てアプリなどで母子を継続してフォローする
	学校教育の充実	学校の集金のキャッシュレス化(口座引落し)
スポーツ促進	スポーツ特待生・奨学金・スクールの仕組みづくり	
課題② 交通アクセスの改善	アクセス 利便性の向上	自動運転バス運行による大幅増便
		東葉高速の運賃改善
		郊外から駅までの交通システム向上(電動モビリティ支援) (車移動を必要としない)コンパクトなまちづくり
		乗り捨てできる自転車を市内に増やす
	安心できる歩行空間の整備	交通量が多い歩道の整備(ベビーカー・車いすも通りやすく) 右折車線の整備(渋滞解消)
課題③ 観光振興	新川の活用	SNSの活用
		広報担当部署の設置
		チラシ類の設置
	情報発信力の強化	農産物マップなどで直売所をアピール
		農家への観光資源化フォロー
アクセス改善	イベント時のシャトルバス運行	

c. 優先的に取り組むべきこと（私たち（市民）ができること）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	私たち（市民）ができること
課題① 子育てしやすい まちづくり	地域資源の活用	市民ボランティアへの特典（税金免除・食券等）
		自分のできることを社協に登録する
		お年寄りを頼る
	安心につながる情報発信	口コミで周知 常にアンテナを高くしておく
課題② 交通アクセスの改善	アクセス 利便性の向上	交通ルールへの順守 できるだけ徒歩・自転車で移動する
	安心できる 歩行空間の整備	右折車を先に行かせる
課題③ 観光振興	新川の活用	イベントに参加する（参加者数を増やす） 地域でお金使う意識を持つ SNS・口コミ発信
	情報発信力の強化	
	アクセス改善	
	外国人との共生	

③ 転入者チーム

a. まちづくりの方向性

【転入者チーム】

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	主な意見(概要)
課題① 安心・安全な 移動手段 の確保	渋滞対策 の強化	車の渋滞多発(特に南北方向の移動)
	歩道の整備	歩道が狭い
		歩道に段差があり、車椅子やベビーカー等には危険
	ガードレール の整備	大きな交差点でもガードレールがない箇所がある
	歩行者用アイ ランドの設置	道が広い道路を横断する際に、高齢者が渡り切れないことがある
	歩道橋エレ ベーターの設置	16号線を車椅子で渡るのは危険
公共交通網の 維持・確保	地域の足となるバス便の維持	
課題② 安心・安全な まちづくり (医療・介護 ・防犯)	高齢者が集まる 場所の確保や イベントの開催	高齢者が集まる場所の確保やイベントの開催
	夜間救急医療 体制の充実	2次救急医療体制の整備
	防犯灯の拡充	重点的に設置した地区とそうでない地区があり、相対的に明るさに差が生じている
	防犯カメラ の増設	防犯カメラの増設
	市民向けワン ストップ相談 窓口がない	自治会以外の市民向けワンストップ相談窓口の設置
課題③ 観光振興	観光情報 発信力の強化	情報発信力の強化(観光の素材はあるが、情報発信力が弱い)
		行先毎に観光アプリをDLする観光客は少ない
	既存観光資源 のブラッシュ アップ	道の駅のさらなる活用
		東葉高速鉄道の活用
		花見時期の集客強化
ふるさと納税 返礼品の拡充	ふるさと納税返礼品の拡充	
廃校の活用	廃校の活用	

b. 優先的に取り組むべきこと（自治体にやってほしいこと）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	自治体にやってほしいこと
課題① 安心・安全な 移動手段 の確保	渋滞対策 の強化	右折車線の整備
	歩道の整備	歩道を広げる
		歩道の段差をなくす
	ガードレール の整備	ガードレールの整備
	歩行者用アイ ランドの設置	歩行者用アイランドの設置
	歩道橋エレ ベーターの設置	歩道橋エレベーターの設置
公共交通網の 維持・確保		バス便の朝・夕の増発
		オンデマンドバス・タクシーの導入
課題② 安心・安全な まちづくり (医療・介護 ・防犯)	高齢者が集まる 場所の確保や イベントの開催	体操教室、カラオケ教室、趣味の集いなど
		老幼施設の整備
	夜間救急医療 体制の充実	市内完結の2次救急医療体制の確保。医療センターの医師等増員への協力
	防犯灯の拡充	設置計画の見直し 駅からやや離れ、人通りがあるが、真っ暗な箇所への優先設置
	防犯カメラ の増設	防犯カメラの増設
市民向けワン ストップ相談 窓口がない	自治会以外の市民向けワンストップ相談窓口の設置	
課題③ 観光振興	観光情報 発信力の強化	紙ベース観光案内の増刷
		SNSの発信回数を増やす
		市民リポーター制度(高校生以外)創設
	既存観光資源 のブラッシュ アップ	クリスマスイルミネーション
		八千代カレーの提供
		新たなブランド品の開発(京成バラ園とのコラボ、ゆるキャラの活用など)
		道の駅に広場を増設(イベント開催、子供遊び場用)
		東葉高速鉄道のファンイベント開催
		花見ライトアップ地域の拡大
	ふるさと納税 返礼品の拡充	「モノ」返礼品に「サービス」分野を追加。①花火大会に有料席を設けて招待、②蛸鑑賞会への招待、③京成バラ園一日園長など
廃校の活用	①お化け屋敷イベント(松戸市で実施)や②コスプレ大会、③ドラマ撮影場所など	

c. 優先的に取り組むべきこと（私たち（市民）ができること）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	私たち（市民）ができること
課題① 安心・安全な 移動手段 の確保	渋滞対策 の強化	交通ルールの順守
	歩道の整備	
	ガードレール の整備	
	歩行者用アイ ランドの設置	
	歩道橋エレ ベーターの設置	
	公共交通網の 維持・確保	バス等公共交通網の積極的な利用
課題② 安心・安全な まちづくり (医療・介護 ・防犯)	高齢者が集まる 場所の確保や イベントの開催	イベントへの積極的な参加
		コミュニティによる見守りの強化
課題③ 観光振興	観光情報 発信力の強化	市民によるSNS発信強化
		市の発信情報に対する「いいね！」運動
		市民リポーター制度への協力
	既存観光資源 のブラッシュ アップ	清掃ボランティア

④ 現役世代チーム

a. まちづくりの方向性

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	主な意見(概要)
課題① 地域のつながりや個性、コミュニティのさらなる強化	交流の推進	地域向けの子ども参加型のイベントを増やす（そうすれば親も参加する） 外国人との交流
	施設の整備	地域のコミュニケーションをとるための施設を改良する 公共施設の利用
	景観まちづくりの推進	景観に配慮したまちづくりを推進する
課題② 市の印象（都市アイデンティティ）やPR力の強化	イベントの増加	市外向けの子ども参加型のイベントを増やす（そうすれば親も参加する） 京成バラ園等知名度の高い団体と協働してイベントを企画 国内のイベントを招致する
	PRの強化・多様化	歴史文化財のアピール 撮影場所としてのPR（フィルムコミッション） SNS映えするスポットを紹介して市外からの訪問者を増やす
	魅せるまちづくり	景観街づくりの推進 観光スポットを増やす
	産業の育成	現在ある産業と新規立ち上げ産業の両方を育成する仕組みを作る
課題③ 産業の活性化	店・宿泊施設の増加	店、宿泊施設を増やす 公共施設の利用

b. 優先的に取り組むべきこと（自治体にやってほしいこと）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	自治体にやってほしいこと
課題① 地域のつながりや個性、コミュニティのさらなる強化	交流の推進	多くの交流の場の提供
		手軽に参加できる（他県からでも来やすい）是非行ってみたいイベントを行う
		地域活動に対するバックアップをする
		外国人との交流の場を作る（イベントで異文化コミュニケーション等）
	施設の整備	村上の図書館をもっと利用しやすくする（駐車場の無料化等）
		道の駅でも肉を売ってバーベキューしやすくする
		跡地（旧学校、その他）の整備をする
少年の家やそのプラネタリウムを利用する		
景観まちづくりの推進	景観行政団体への移行	
課題② 市の印象（都市アイデンティティ）やPR力の強化	イベントの増加	ガキ大将の森、道の駅のバーベキューなどをうまく利用する
		積極的な情報発信
	PRの強化・多様化	地域学習、文化財の調査をし、アピールポイントを作成
		積極的な情報発信
		地域資源の掘り起こし（見直し）
課題③ 産業の活性化	産業の育成	（利用客となる）市民のニーズをまとめる機会を作る
		国の補助金、助成金を利用して産業を育成
		企業、進出企業に対し税を優遇する

c. 優先的に取り組むべきこと（私たち（市民）ができること）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	私たち(市民)ができること
課題① 地域のつながりや個性、コミュニティのさらなる強化	交流の推進	交流の場への参加 まち歩き等への参加
	施設の整備	旧施設跡地を活用し、防災訓練、地域学習等の機会を作る
課題② 市の印象（都市アイデンティティ）やPR力の強化	イベントの増加	イベントの企画
	PRの強化・多様化	ワークショップ等への参加 リツイート対応 ワークショップ等への参加
課題③ 産業の活性化	産業の育成	市民のニーズ、意見を出す 八千代市の梨を使った料理を考え、PRする

⑤ 高齢者チーム

a. まちづくりの方向性

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	主な意見(概要)
課題① 高齢者福祉の充実	ボランティアの活用	ボランティアによる相互扶助のまちづくり
		高齢者にも気軽にできるボランティア
	一人暮らしの高齢者への支援	一人暮らしの高齢者への支援
		一人暮らしでも安心して暮らせるまちづくり
	高齢者の生活支援	高齢者の生活支援
		介護タクシーの問題
		おだやかなまちであって欲しい
	市役所の相談窓口	市役所の高齢者窓口が上階にある
		相談窓口がわからない
		市からの積極的な情報発信
課題② 地域コミュニティの構築 (高齢者の生きがいづくり)	施設の充実	普段気軽に出入りできる場所(屋内・屋外)がある
		地域密着の小集会所を各所に設ける
		運動関連の施設整備・機会の創出
	各種プログラムの充実(生涯学習・スポーツなど)	スポーツ・趣味を通じた健康寿命の確保
		ふれあい大学に何度も参加できる
		元気体操への参加
	サークル活動の活発化	高齢者向けサークルの充実
		高齢者の経験から学び取る機会の創出
		高齢者の孤独をなくす政策
	課題③ 多様な交通手段の確保 (交通弱者への対応強化)	交通弱者への支援
集会などに出てこられない人の支援		
高齢者・障がい者などの外出機会の確保		
鉄道運賃		東葉高速鉄道の運賃引き下げ
		行政(国・県)と自治体との連携強化
交通手段の多様化		細やかな交通手段(新しい交通手段)の確保

b. 優先的に取り組むべきこと（自治体にやってほしいこと）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	自治体にやってほしいこと
課題① 高齢者福祉の充実	ボランティアの活用	ボランティアを一元管理し、活動実績のPRを大々的に行う 保育園・幼稚園向けのボランティア活用
	一人暮らしの高齢者への支援	自治体による一人暮らし家庭のサポート充実
	高齢者の生活支援	高齢者向けの施策の説明会を実施する
	市役所の相談窓口	出かけられない高齢者のための出張サービス 話し合いの場を多くつくる
課題② 地域コミュニティの構築 (高齢者の生きがいづくり)	施設の充実	世代を問わず触れ合える施設・機会を作してほしい
		運動施設(小体育館)をつくってほしい
		自治会館を使いやすくしてほしい
	各種プログラムの充実(生涯学習・スポーツなど)	趣味講座大学を開催してほしい
		ヨガ・ピラティスなど魅力的なイベントをやってほしい 船橋アリーナのようにダンスなどをやれる施設を整備してほしい
	サークル活動の活発化	スポーツ・教養経験者が中学校の部活への応援を行う
自治会を少人数にする ゴミゼロ運動(スポGOMI)を定期開催する		
課題③ 多様な交通手段の確保 (交通弱者への対応強化)	交通弱者への支援	道路の整備(段差・亀裂が多い)
		安全な歩道の整備(標識など)
		街灯を増やしてほしい
	鉄道運賃	都心に出る手段が少ない
交通手段の多様化	ふれあい無料バスの拡大を図る	
	高齢者・障がい者のバスの無料定期券の支給	

c. 優先的に取り組むべきこと（私たち（市民）ができること）

まちづくりの課題	まちづくりの方向性	私たち（市民）ができること
課題① 高齢者福祉の充実	ボランティアの活用	ボランティアに参加してよりよい街にしていきたい お散歩等の軽いボランティアのお手伝いをしてみたい
	一人暮らしの高齢者への支援	一人暮らし世帯へのサポート 自分たちでできることからする
	高齢者の生活支援	困っている高齢者の相談にのってあげる
課題② 地域コミュニティの構築（高齢者の生きがいがづくり）	各種プログラムの充実（生涯学習・スポーツなど）	自分の経験を通じた特技などを登録制にする 市が主催する有料イベントに積極的に参加する
	サークル活動の活発化	隣近所の高齢者と話す機会を増やす
課題③ 多様な交通手段の確保（交通弱者への対応強化）	交通手段の多様化	運転に気を付けたい

3. グループワークの様子

(1) グループワーク中



(2) 第1回グループワークの成果物



(3) 第2回グループワークの成果物及び発表風景





子育て世代チーム



転入者チーム



現役世代チーム



高齢者チーム



III. 参加者アンケート

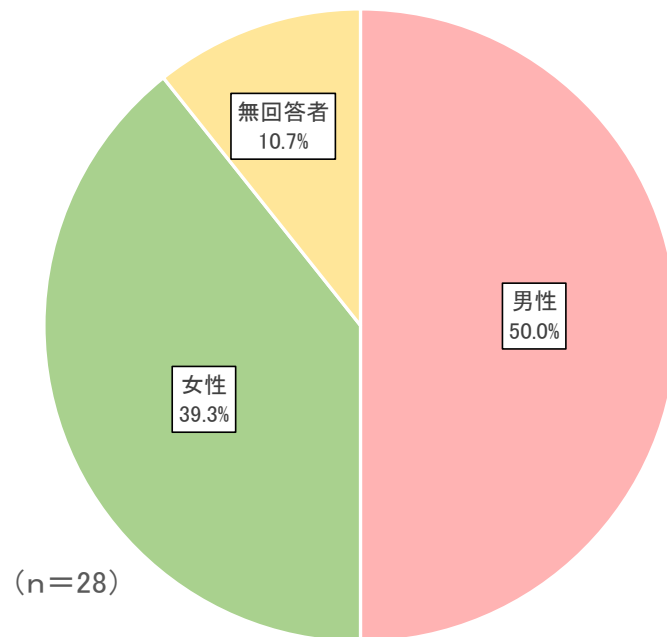
1. 第1回市民ワークショップのアンケート結果

(1) 回答者の属性

① 性別

第1回市民ワークショップ参加者の性別の割合は、「男性」が50.0%、「女性」が39.3%、「無回答者」が10.7%となっている（図表1）。

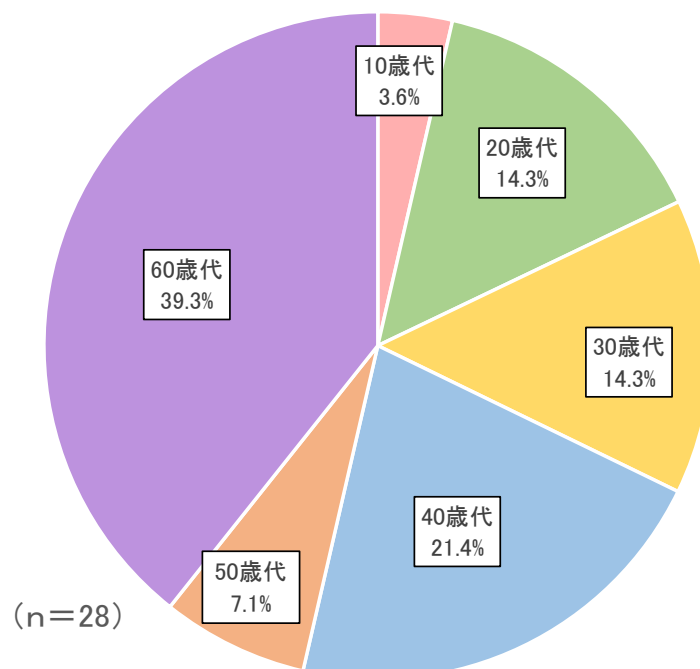
図表1 性別



② 年齢別

アンケート回答者の年齢別の割合は、「60歳代」が39.3%で最も多く、「40歳代（21.4%）」、「20歳代（14.3%）」と「30歳代（14.3%）」が同率で続いている（図表2）。

図表2 年齢別

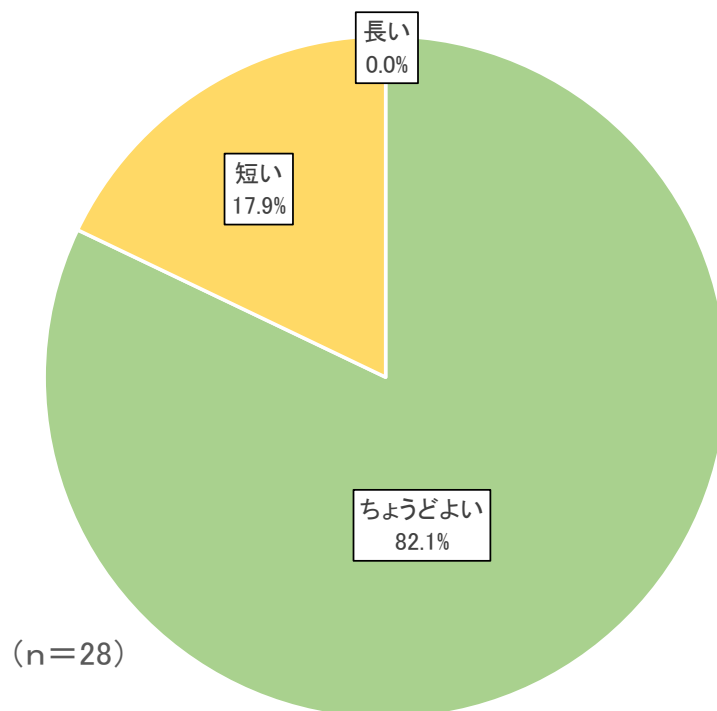


(2) 第1回市民ワークショップの時間配分

第1回市民ワークショップの時間配分は、「ちょうどよい」が82.1%、「短い」が17.9%となっている（図表3）。

年齢で見ると、「60歳以上」の36.4%、「30歳代」の25.0%が「短い」と回答した（図表4）。また、性別で見ると、「男性」の21.4%、「女性」の9.1%が「短い」と回答した。

図表3 第1回市民ワークショップの時間配分



図表4 第1回市民ワークショップの時間配分（性別・年齢別）

（単位：％）

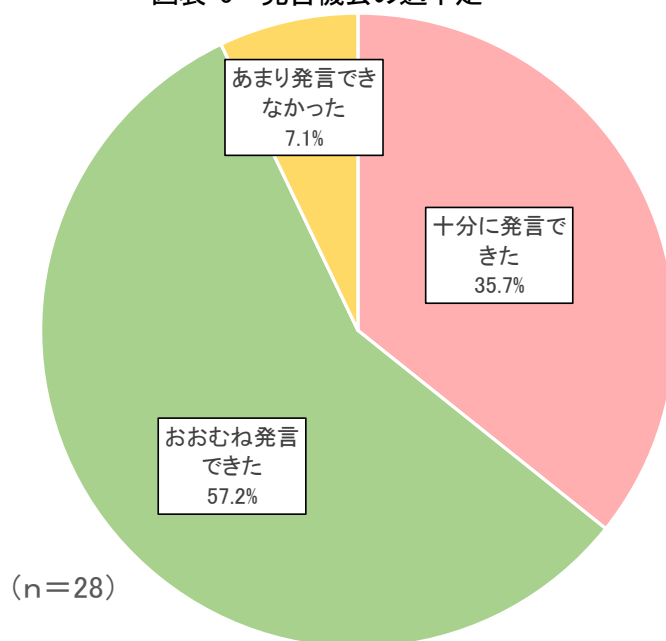
		(n)	長い	ちょうどよい	短い
全体		28	0.0	82.1	17.9
性別	男性	14	0.0	78.6	21.4
	女性	11	0.0	90.9	9.1
	無回答者	3	0.0	66.7	33.3
年齢別	10歳代	1	0.0	100.0	0.0
	20歳代	4	0.0	100.0	0.0
	30歳代	4	0.0	75.0	25.0
	40歳代	6	0.0	100.0	0.0
	50歳代	2	0.0	100.0	0.0
	60歳以上	11	0.0	63.6	36.4

(3) 発言機会の過不足

第1回市民ワークショップの発言機会の過不足をみると、「十分に発言できた」が35.7%で、「おおむね発言できた(57.2%)」をあわせると、92.9%が「発言できた」と回答した(図表5)。一方、「あまり発言できなかった」は7.1%となっている。

年齢でみると、「60歳以上」の18.2%が「あまり発言できなかった」と回答した(図表6)。また、性別でみると、「女性」の9.1%が「あまり発言できなかった」と回答した。

図表5 発言機会の過不足



図表6 発言機会の過不足(性別・年齢別)

(単位: %)

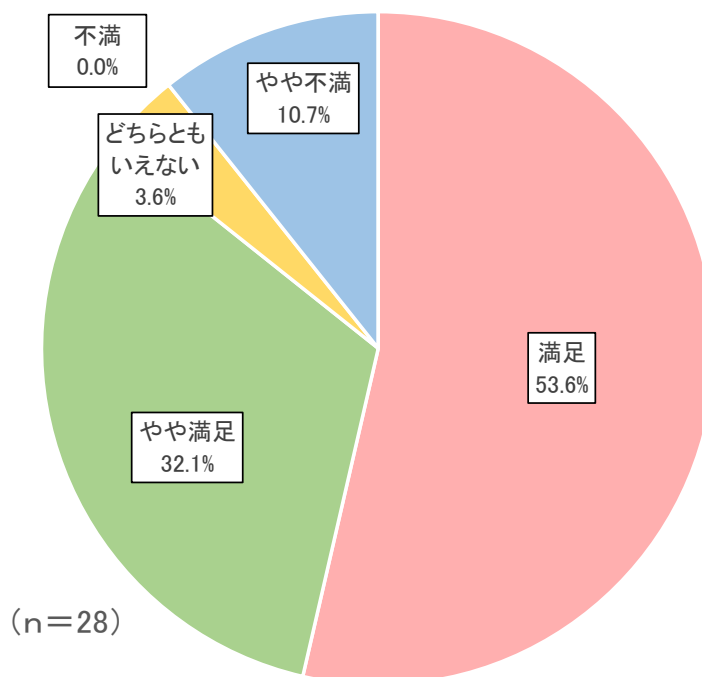
		(n)	十分に発言できた	おおむね発言できた	あまり発言できなかった
全体		28	35.7	57.2	7.1
性別	男性	14	35.7	64.3	0.0
	女性	11	36.4	54.5	9.1
	無回答者	3	33.3	33.3	33.3
年齢別	10歳代	1	100.0	0.0	0.0
	20歳代	4	75.0	25.0	0.0
	30歳代	4	50.0	50.0	0.0
	40歳代	6	16.7	83.3	0.0
	50歳代	2	0.0	100.0	0.0
	60歳以上	11	27.3	54.5	18.2

(4) 第1回市民ワークショップの満足度

第1回市民ワークショップの満足度をみると、「満足」が53.6%で、「やや満足(32.1%)」をあわせると、85.7%が「満足」と回答した(図表7)。一方、「やや不満」は10.7%、「どちらともいえない」は3.6%であった。

年齢でみると、「60歳以上」の18.2%、「40歳代」の16.7%が「やや不満」と回答した(図表8)。性別でみると、「男性」の7.1%、「女性」の9.1%が「やや不満」と回答した。

図表7 第1回市民ワークショップの満足度



図表8 第1回市民ワークショップの満足度(性別・年齢別)

(単位: %)

	(n)	満足			どちらともいえない	不満			
		満足計	満足	やや満足		不満計	やや不満	不満	
全体	28	85.7	53.6	32.1	3.6	10.7	10.7	0.0	
性別	男性	14	85.7	50.0	35.7	7.1	7.1	7.1	0.0
	女性	11	68.5	32.1	36.4	0.0	9.1	9.1	0.0
	無回答者	3	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
年齢別	10歳代	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	4	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	4	75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	6	83.3	83.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
	50歳代	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	11	81.8	27.3	54.5	0.0	18.2	18.2	0.0

図表 9 満足な理由

満足な理由	性別	年齢別
自分が気づかなかった意見を聞く事ができてとても良い経験となりました。色んな世代の人の意見も分かり、次のワークショップで八千代市の課題を解決できるようにしたい。	女性	10 歳代
初対面の人たちばかりでしたが、全体的にスムーズな進行でリラックスして進めることができました。私は県外から来たので、生まれてから八千代で生活している人の意見は新鮮で思ったよりも共感できる内容でした。	男性	20 歳代
若い世代、同世代、上の世代の意見を聴けて勉強になった。	男性	20 歳代
様々な意見を聞くことができ、新しい発見があったため。	男性	20 歳代
互いに知らない人同士だったが、各自が考えていること、思っていることを十分に共有できたため。	男性	20 歳代
色々な意見が聞けた。	女性	30 歳代
様々な意見を聞くことができたので。	女性	30 歳代
雰囲気味わえたため。同世代や同じ地域の皆さんと一緒にと尚よかった。	男性	30 歳代
司会進行が配置されており、意見がまとめやすかった。	女性	40 歳代
いままで気づかなかった八千代市の事がわかった。	—	40 歳代
このような機会はなかなかないと思います。	男性	40 歳代
近所以外の方と話げできたこと。	男性	50 歳代
自分ではわからない八千代市の良いところ、悪いところもわかった。	女性	50 歳代
各人の経験等を通しての異なる視点での意見などがあり有意義でした。	男性	60 歳以上
いろいろ意見が聞けて、新しい情報が分かった。市政を身近に感じた。個々で話す時間があると良かった。	女性	60 歳以上
いろいろな方のお話を聞くことができ、良い機会となりました。	男性	60 歳以上
このような場がないので良かったです。	女性	60 歳以上
楽しかった。	男性	60 歳以上
良い点、悪い点が知れて良かった。	男性	60 歳以上

図表 10 どちらともいえない理由

どちらともいえない理由	性別	年齢別
もう少し長くても良い。みな意見を多く持っていた。	男性	30 歳代

図表 11 不満足な理由

不満足な理由	性別	年齢別
市側の提出された資料の根拠や理由などを知りたかった。	男性	40 歳代
ある特定の人が長く言っていて、思うように意見を言えなかった。それに年齢は 60 歳以上ですが、パートで働いているので、少し高齢者の話とは合わないと思いました。	女性	60 歳以上
若干提案事項に説明ができなかった。	無回答者	60 歳以上

(5) ご意見・ご感想

第1回市民ワークショップ参加者の次回話し合いたいテーマなどのご意見・ご感想は図表 12 の通りであった。

図表 12 ご意見・ご感想

ご意見・ご感想	性別	年齢別
市役所のイベントですが全く固くなくて空気が良かったです。	男性	20 歳代
学生と働く人間との意見交換(不満, 就職についての相談など何でも答えられる限りで)。	男性	20 歳代
より色々な年代の方々と意見交換したい。	男性	20 歳代
今後のまちづくりの方向性, 八千代市の良さを伸ばし, 課題を解決するために何が必要かについて。八千代市全体の大きな地図があると, 「ここがこうで」という形で議論しやすい(八千代市の主な公共・商業施設, 鉄道, 道路などを書き込んだ地図)。	男性	20 歳代
子育てしやすいまちづくりについて。	女性	30 歳代
八千代市がどんな方向に行くと良いと思っているのか意見を伺いたいです。	女性	30 歳代
今日出た不満点について, 市ですすでに対策がされているのか等の状況を知りたい。	女性	40 歳代
八千代市の財政について。	女性	40 歳代
行政で行えることは長期戦になることが多いと思います。若い人に 30 年先の未来を考えてもらうのもおもしろいと思います。	男性	40 歳代
改善策や企画案のフリートーク	男性	40 歳代
悪いところを良くし, ピンクの付せんがいっぱいになるようにしたい。	女性	50 歳代
自分の希望する意見が通るために具体的に話し合いたい。	女性	60 歳以上
司会がもう少しうまく進めてほしい。	男性	60 歳以上
国の仕事と市の仕事を区別するのが困難だ。どうしても入り組んでいる。国の説明をもっとすべきだ。	男性	60 歳以上
八千代市をもっと知らせる PR を。	女性	60 歳以上
テーマをしばって話し合いをしてほしい。	女性	60 歳以上
八千代のブランド力の向上について。	男性	60 歳以上
認知度をあげるには? を検討したい。	男性	60 歳以上
まだまだ意見を聞いたり, 振り返ったりすると, たくさん意見があったので, このような機会を広げていただきたい。	女性	60 歳以上

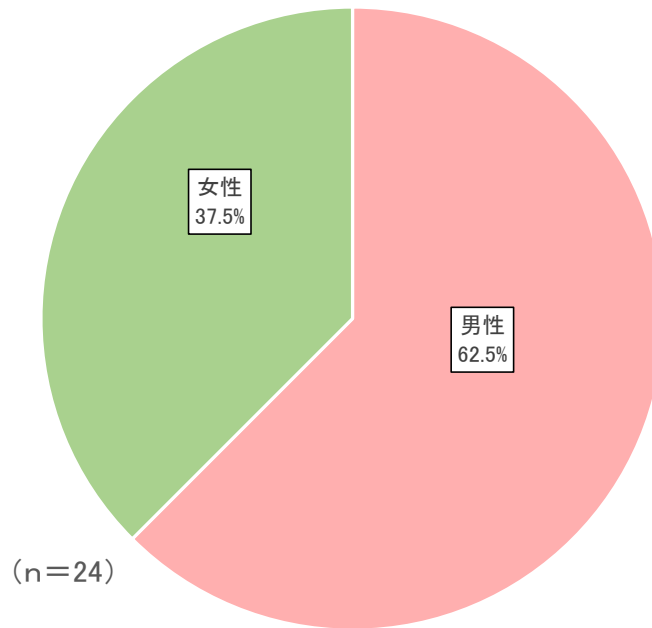
2. 第2回市民ワークショップのアンケート結果

(1) 回答者の属性

① 性別

第2回市民ワークショップ参加者の性別の割合は、「男性」が62.5%、「女性」が37.5%となっている（図表13）。

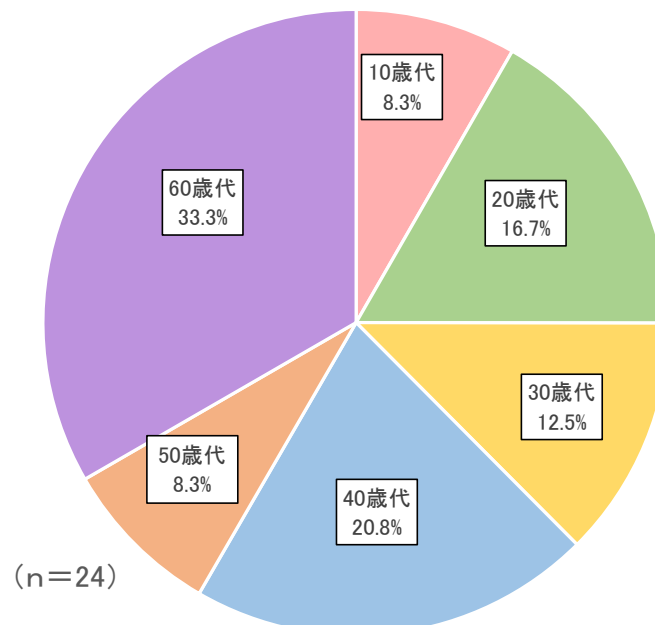
図表 13 性別



② 年齢別

アンケート回答者の年齢別の割合は、「60歳代」が33.3%で最も多く、「40歳代（20.8%）」、「20歳代（16.7%）」が続いている（図表14）。

図表 14 年齢別



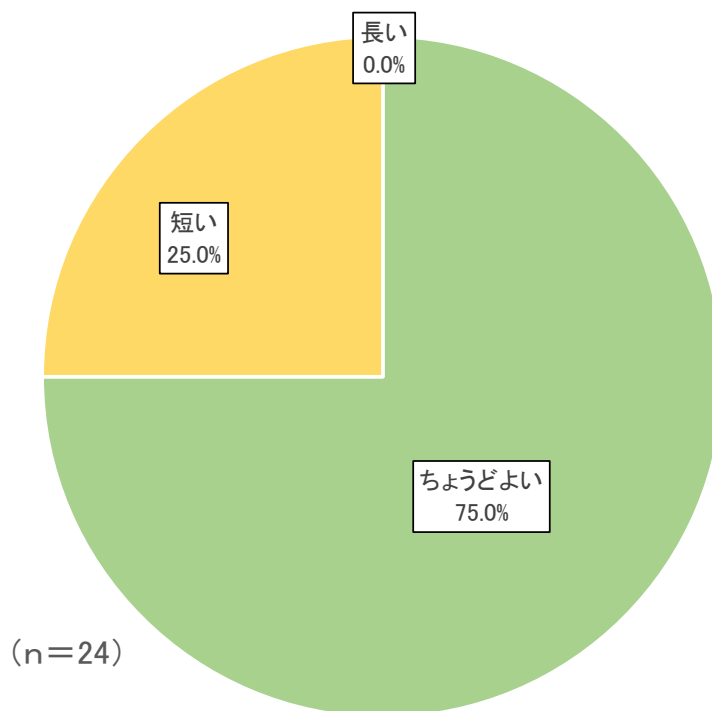
(2) 第2回市民ワークショップの時間配分

第2回市民ワークショップの時間配分は、「ちょうどよい」が75.0%、「短い」が25.0%となっている（図表15）。

年齢で見ると、「20歳代」の50.0%、「30歳代」の33.3%が「短い」と回答した（図表16）。

また、性別で見ると、「女性」の40.0%が「短い」と回答した。

図表 15 第2回市民ワークショップの時間配分



図表 16 第2回市民ワークショップの時間配分(性別・年齢別)

(単位：%)

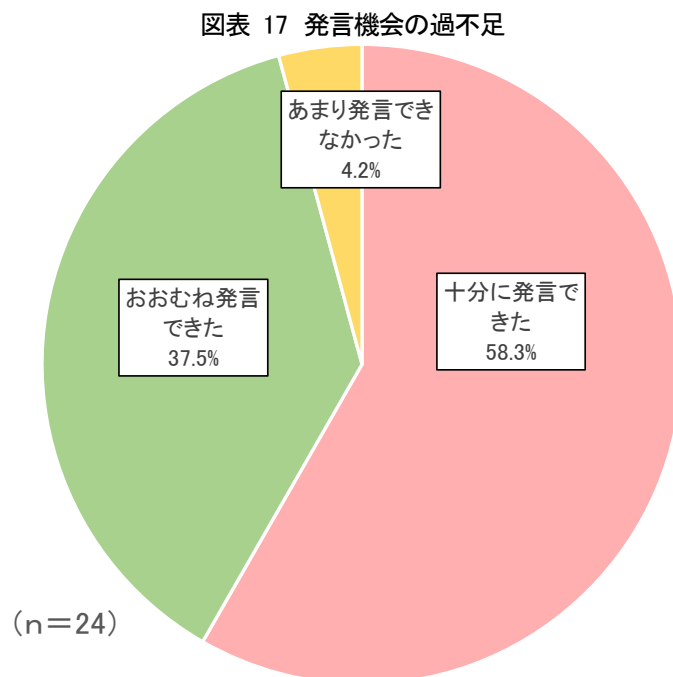
		(n)	長い	ちょうどよい	短い
全体		24	0.0	75.0	25.0
性別	男性	15	0.0	60.0	40.0
	女性	9	0.0	100.0	0.0
年齢別	10歳代	2	0.0	100.0	0.0
	20歳代	4	0.0	50.0	50.0
	30歳代	3	0.0	66.7	33.3
	40歳代	5	0.0	80.0	20.0
	50歳代	2	0.0	100.0	0.0
	60歳以上	8	0	75.0	25.0

(3) 発言機会の過不足

第2回市民ワークショップの発言機会の過不足をみると、「十分に発言できた」が58.3%で、「おおむね発言できた(37.5%)」をあわせると、95.8%が「発言できた」と回答した(図表17)。一方、「あまり発言できなかった」は4.2%となっている。

年齢でみると、「40歳代」の20.0%が「あまり発言できなかった」と回答した(図表18)。

また、性別でみると、「女性」の11.1%が「あまり発言できなかった」と回答した。



図表 18 発言機会の過不足(性別・年齢別)

(単位：%)

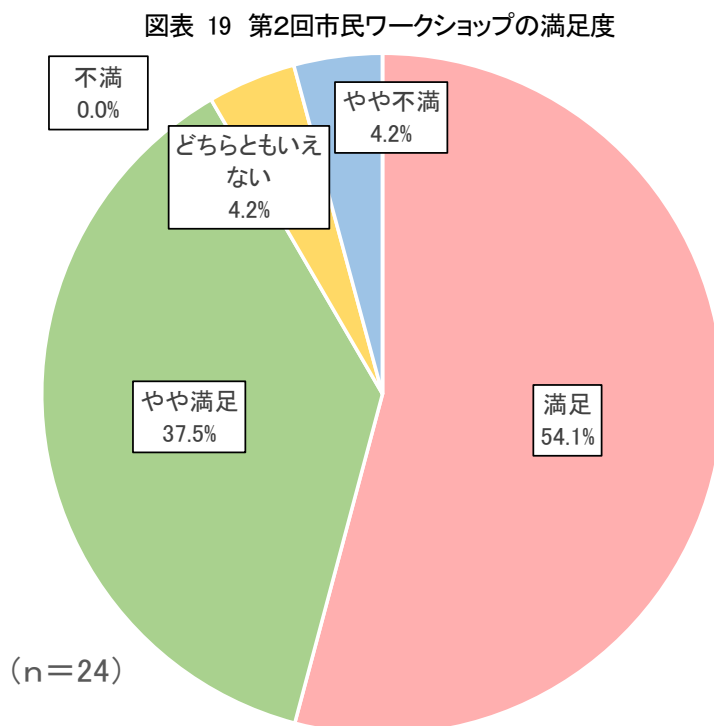
		(n)	十分に発言できた	おおむね発言できた	あまり発言できなかった
全体		24	58.3	37.5	4.2
性別	男性	15	53.3	46.7	0.0
	女性	9	66.7	22.2	11.1
年齢別	10歳代	2	50.0	50.0	0.0
	20歳代	4	100.0	0.0	0.0
	30歳代	3	66.7	33.3	0.0
	40歳代	5	60.0	20.0	20.0
	50歳代	2	50.0	50.0	0.0
	60歳以上	8	37.5	62.5	0.0

(4) 第2回市民ワークショップの満足度

第2回市民ワークショップの満足度をみると、「満足」が54.1%で、「やや満足(37.5%)」をあわせると、91.6%が「満足」と回答した(図表19)。一方、「やや不満」は4.2%、「どちらともいえない」は4.2%であった。

年齢でみると、「40歳代」の20.0%が「やや不満」,「30歳代」の33.3%が「どちらともいえない」と回答した(図表20)。

また、性別でみると、「男性」の6.7%が「やや不満」,6.7%が「どちらともいえない」と回答した。



図表 20 第2回市民ワークショップの満足度(性別・年齢別)

(単位: %)

	(n)	満足			どちらとも いえない	不満			
		満足計	満足	やや満足		不満計	やや不満	不満	
全体	24	91.6	54.1	37.5	4.2	4.2	4.2	0.0	
性別	男性	15	86.7	60.0	26.7	6.7	6.7	6.7	0.0
	女性	9	100.0	44.4	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	10歳代	2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	4	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	40歳代	5	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	50歳代	2	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	8	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 21 満足な理由

満足な理由	性別	年齢別
あらゆる方向性・視点を知ることができて、とても満足しました。	女性	10 歳代
みんな発言できていた。	男性	10 歳代
自分の意見を話しつつも、他の方の意見を伺うことができたため。	男性	20 歳代
様々な意見を聞くことができたため、自分では思いつかないような考えもたくさんあり、知見が広がった。	男性	20 歳代
フランクに話し合えることができました。ワークショップの開始時は、全く考えがなかったのですが、事前の説明やグループメンバーの意見を聞いてそれなりの発言ができたと思います。	男性	20 歳代
内容はとても勉強になった。	男性	20 歳代
みなさんの意見が伺えたのでとても良かったです。	女性	30 歳代
普段考えないことが発言することによって解った。何が不満なのかとか。	男性	40 歳代
皆さんが思っていることの共有ができました。	男性	40 歳代
自分はあまり意見を出すことができなかったが、グループのメンバーの様々な意見を聞くことができた。	女性	40 歳代
前回の意見をまとめて、テーマごとに考察できる環境だったからです。	女性	40 歳代
意見だけでなく、ちゃんと守られ、実行されたらうれしい。	女性	50 歳代
他チームで良い意見が出ていたこと（自分のチームで気が付かなかったこともあったので）。	男性	60 歳以上
自分の考え方以外の様々な意見が聞けて、とても楽しく過ごせました。	男性	60 歳以上
十分発表できたし、意見も聞けた。	男性	60 歳以上
今回の話し合いに参加した目的が施設（体育館）をつくって欲しいということだったので、それを発言したことはとても良かった。	女性	60 歳以上
八千代市について意見を交わせる機会ができて良かったです。	女性	60 歳以上
世代ごとに意見を聞くことができました。	男性	60 歳以上

図表 22 どちらともいえない理由

どちらともいえない理由	性別	年齢別
皆さん多くの意見をお持ちでしたが、一つ一つについて、もっと意見交換ができた方が有意義だったと感じた。	男性	30 歳代

図表 23 不満足な理由

不満足な理由	性別	年齢別
最終的に他の世代、グループとの意見交換がしたかった。まとめがざっくり過ぎている。	男性	40 歳代

(5) ご意見・ご感想

第2回市民ワークショップ参加者の今後話し合いたいテーマなどのご意見・ご感想は図表 24 の通りであった。

図表 24 ご意見・ご感想

ご意見・ご感想	性別	年齢別
今回のワークショップを通して、八千代の事について深く考えられて、とても良い経験になりました。ありがとうございました。	女性	10 歳代
子供・若者が住みたいと思える街づくり。	男性	10 歳代
具体的な計画や政策づくりについて。(例) 商業施設をつくる場合、どのような店舗を誘致したいかなど一連の具体的な流れに関わりたい。	男性	20 歳代
議員の方々とディスカッションしたい。	男性	20 歳代
多くのグループで出ていた話題(多世代交流, 歩行者等)に焦点をあてて議論をできたらと思います。	男性	20 歳代
学生のためにもなるうえ, 社会人のためにもなるので定期的に開催して欲しい。	男性	20 歳代
次回があるなら…もっと具体的にどんなことができるのか話したいです。	女性	30 歳代
テーマを絞ったワークショップを開催して欲しい。	男性	30 歳代
子育てについて。	女性	30 歳代
イベントの企画なども面白いかもしれません。	男性	40 歳代
八千代市をブランディングするワークショップとかは面白いかも。	男性	40 歳代
産業, 居住環境について。	女性	40 歳代
どの世代も色々と話し合って本当に必要だと思われる改善策や問題点, 方向性を絞った方が良いと思った。	男性	40 歳代
実行されたこと。実行されないこと(なぜできなかったのかとか)。	女性	50 歳代
八千代ブランド品の具体的なアイデアを深堀したい。市の取組状況について, もう少し詳しく知りたい。それに対して参考になる意見が出れば良いのでは。	男性	60 歳以上
大体同じような意見になるのは不思議だった。	男性	60 歳以上
広報活動のあり方。40~50 人の市民を集めたワークショップ(意見交換)の場を設けること(定期開催)。	男性	60 歳以上
子供向け児童館をつくった方がよいと思う。	女性	60 歳以上
年代を問わず色々の意見!とても参考になりました。	女性	60 歳以上
今回このような機会を与えて頂き感謝しています。老若男女皆さんが八千代市に対して, 良い意味での意識の高さに驚かされました。今後も引き続きワークショップを行ってほしいです。	女性	60 歳以上

「市民ワークショップ」
実施報告書
令和6年3月

発行 八千代市企画部企画経営課
〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5
電話 047 (483) 1151 (代表)